

DIEX汎用蓄積サービス 概要

Ver.1.0

株式会社トヨタシステムズ

1.サービスの目的

- ① 企業間の情報交換を安全かつ確実に実施するために構築されたインフラであり、D.e-Net/JNX上でサービスを提供することで ネットワークの利用を向上させ ネットワークサービスの付加価値を提供。
- ② トヨタグループに展開することでオールトヨタの情報を一元管理。
- ③ 新 T N S をサポートする仕組みとする。
- ④ 旧 T N S - S (※) との接続性を確保するために、旧 T N S - S と同様のインフラである V A N を利用する。
- ⑤ 現状テープや紙で取り回している業務の電子化を図る。

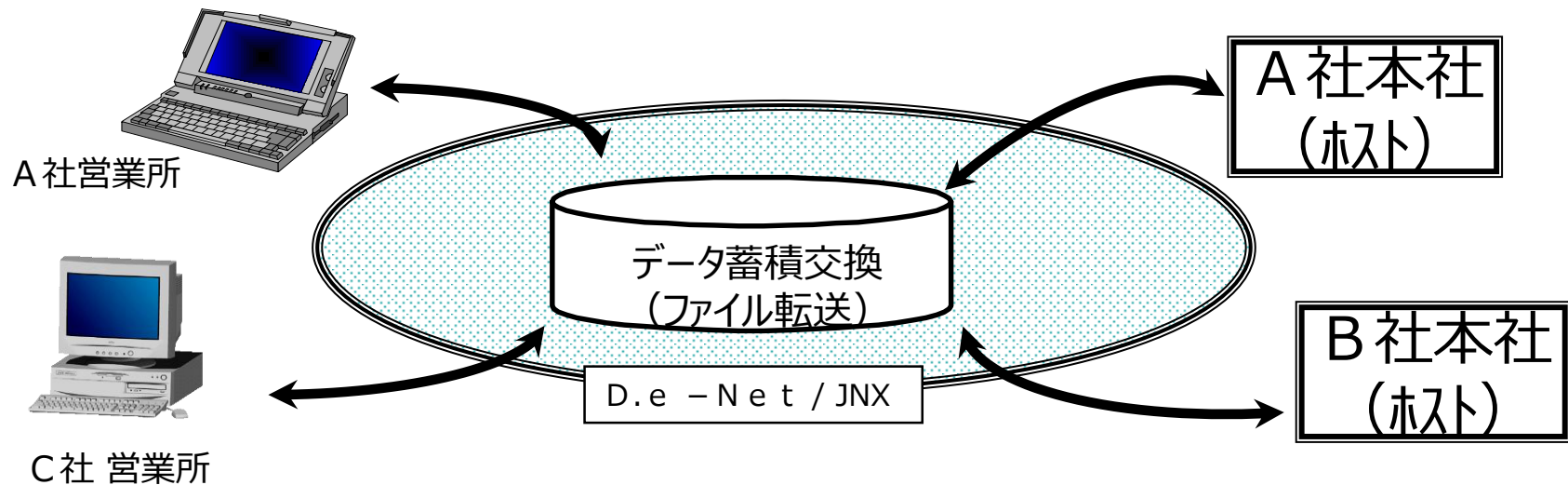
(※) T N S - S とは. . .

T o y o t a N e t w o r k S y s t e m - S u p p l i e r s の略
購買・生産手配などとの情報授受を効率化し、部品の購買システムを始め仕入先
との業務改善を目的として構築されたシステム。

接続先数（仕入先数）が多く、取り扱う情報量もまちまちであり、また部品はトヨタ
自動車だけでなく他企業との取引きもあることを考慮し商用 V A N を利用した接続方法で構築された。

2.サービスの特長

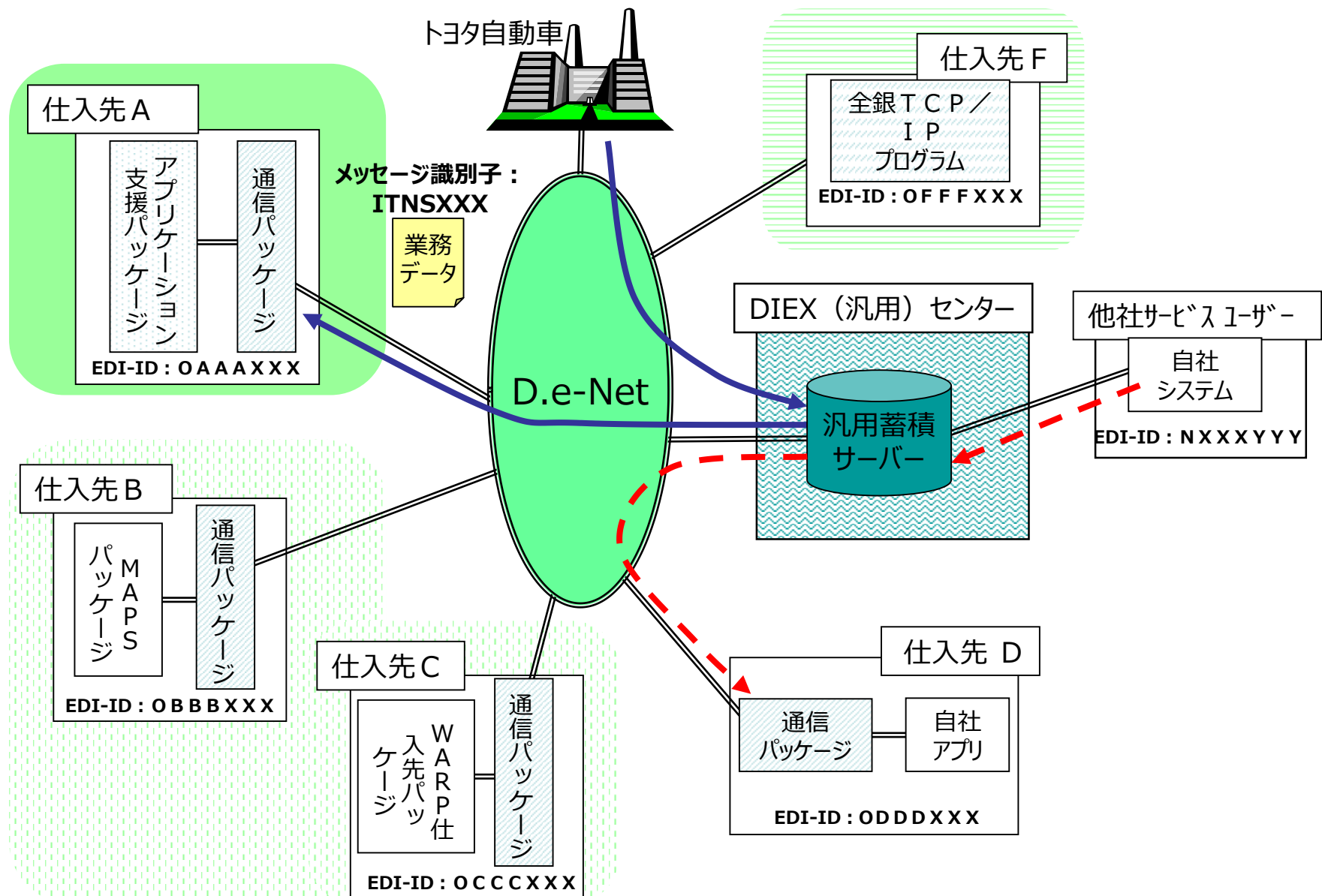
D.e-NetまたはJNXを介してデータ蓄積交換をネットワークサービスの一部として提供します。



- 情報として文字データ以外に画像，図面等 イメージデータを採用（網内は透過）
- T C P / I P による高速通信を採用
- 同報，別名（ニックネーム）による宛先指定が可能
- 接続先は各社 1 拠点ではなく 複数拠点接続を可能
（ホストを経由させず各部門サーバーからも直接送受信可能）
- 最大 3 0 日まで情報保管が可能、受信完了後 再度 同じ情報が受信可能
（保管期間は任意で設定、期間満了時 自動消去）
- 情報の暗号化，圧縮化（独自手順）を実施

D I E X 汎用蓄積サービスのご説明

3.サービス全体構成



4.サービス提供仕様

1. サービス提供開始	’98 / 1～
2. サービス提供時間	月曜日 6 : 0 0 ～ 日曜日 2 4 : 0 0 (月曜日 0 : 0 0 ～ 6 : 0 0 はサービス停止)
3. サービス拠点 (アクセスポイント)	イントラネットサービス・アクセスポイント * D I E X サービスは <u>イントラネット接続サービス</u> 又は JNX への加入が前提です。
4. ネットワーク接続回線	I S D N (I N S 6 4) , 専用線 , (公衆回線) * 専用線を推奨とする。転送スピードは <u>1 0 M B / H</u> を設計目標としています。)
5. ネットワーク接続形態	D.e-Net イントラネット接続サービス、JNX 接続が提供する接続形態 全てをサポートします。 D.e-Net : イントラネット, C S P サービス (又は他社の JNX 接続サービス)
6. サービス使用伝送手順	① F T P 手順… E D I ゲートウェイ (F T P 版) 間での通信手順で R F C 9 5 9 を ベースとした専用ソケット手順 (別冊 F T P 利用のためのソケットプログラムの要件書参照) ② 全銀手順… E D I ゲートウェイ (全銀 T C P 版) 間での通信手順。 (別冊 全銀協標準通信プロトコル T C P / I P 手順 -) (C I I 拡張 Z 手順利用ガイド 参照) ③ サービス管理サーバー接続手順… サービス管理サーバーへの接続する 専用ソケット手順 (別冊 サービス管理サーバー外部システム設計書 参照) * F T P 手順を使用する場合は サービス管理サーバー接続手順も搭載が必要。 全銀手順使用時は 基本的に全銀 T C P / I P 手順のみです。
7. サービス運用	カスタマーセンターにて障害等の問い合わせ対応を実施する。お客様 各々の運用は サービス管理者端末を設置していただきお客様で実施していただきます。

<トヨタシステムズ側>

① サービス管理機能 **（基本機能）**

： サービス認証，アクセス状況管理，暗号化キーの管理を実施

② センター蓄積・保管機能 **（基本機能）**

： MAX 100MB/ファイル(※1)を 最長30日間 蓄積・保管する

期間については0～30日の間で任意に設定

（蓄積）データが格納され抜き出しが完了まで

（保管）データが抜き出された後

※1：お客様環境からの送受信を保証するものではありません。（利用環境に応じ調整願います）

③ 別名発信機能 **（基本機能）**

： アカウントID，ユーザーIDとは別に 代替名の宛名を使用

④ FAX配布機能 **（付加機能）**

： センターへの格納データを処理してFAXにて相手先に送信する

⑤ オートコール機能 **（付加機能）**

： センターから 強制的に 接続（ダイヤル）し送受信を実施する

（宛先ユーザーが全銀手順使用であること）

⑥ センター状況照会 **（基本機能）**

： 蓄積・保管等のセンター処理状況を確認する（テキストデータ，SNA専用画面）

SNA専用画面は サービス管理者端末にてユーザー諸登録とあわせてセンター内状況照会可能

オーディットレール，状況確認メッセージは 情報蓄積交換料が発生する

<お客様側>

提供パッケージ搭載機能 （自社開発の場合は各社の機能要件となります。）

① データ送受信機能 （基本機能）

： データ送受信を実施 （自動ダイヤルして接続, 切断） F T P 手順を搭載

② コード変換 （基本機能）

： クライアントで使える文字コードへ変換する

基本的に マルチレイアウト（1バイト, 2バイトコード混在）に対しては不可能で
対象のデータを一括変換する （新 T N S アプリケーション支援パッケージにて対応） （付加機能）

③ ローカル保管機能 （基本機能）

： 送受信したデータは クライアント内で任意の期間保管する

④ タイマー機能 （基本機能）

： 事前に 送受信 日時の登録を実施し自動的に送受信する

⑤ 暗号 / 復号化 （基本機能）

： 任意で暗号/ 復号化を実施

（市販ツールの利用可 ただし送受信者間での取り決めが必要）

⑥ 圧縮 / 解凍 （基本機能）

： 任意で 圧縮 / 解凍を実施

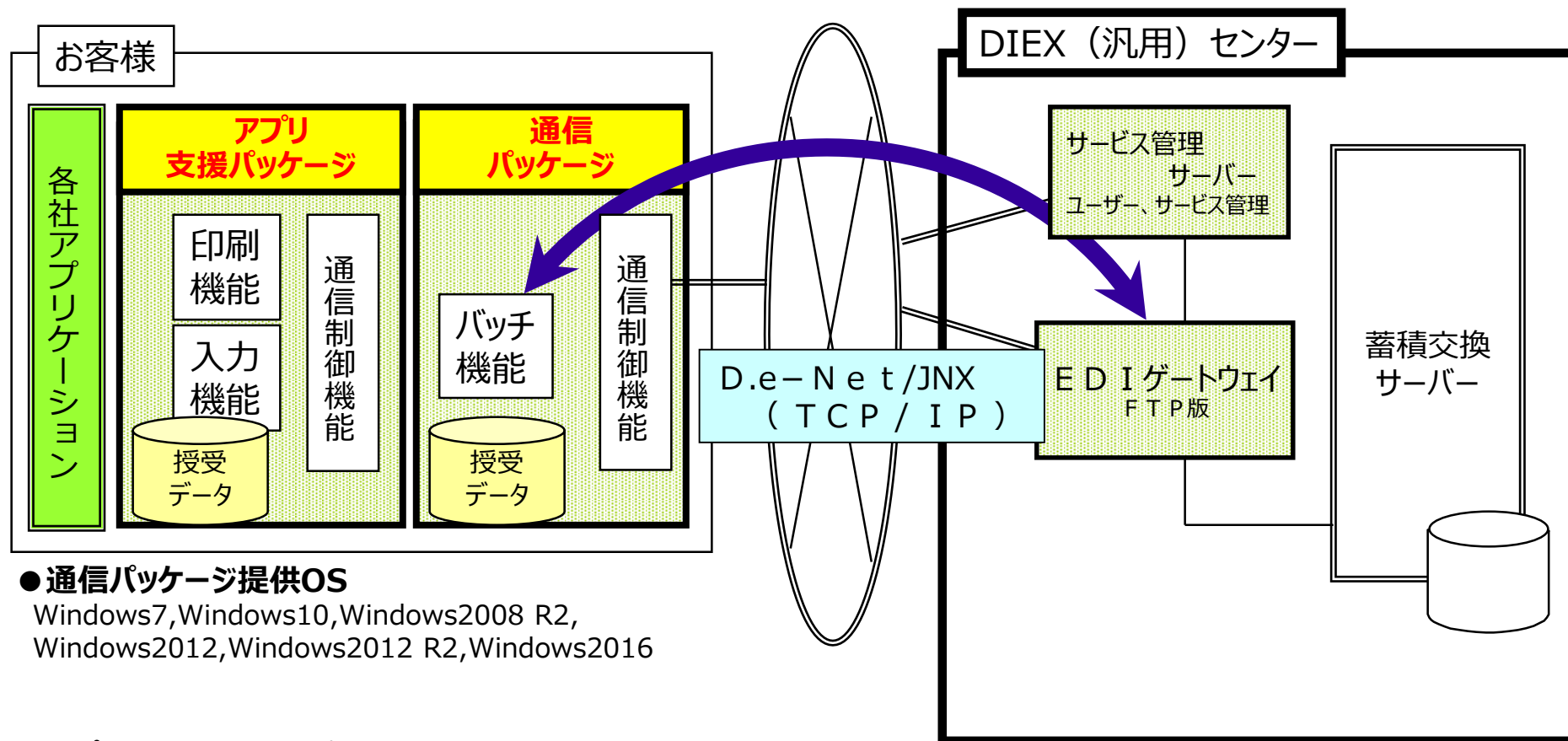
（市販ツールの利用可 ただし送受信者間での取り決めが必要）

⑦ 送受信履歴（ログ） （基本機能）

： 送受信結果を参照し確認、センター内状況表示 （オーディットトレール, 状況確認メッセージより）

6.サービスシステム構成

<トヨタシステムズ提供の通信パッケージ利用>

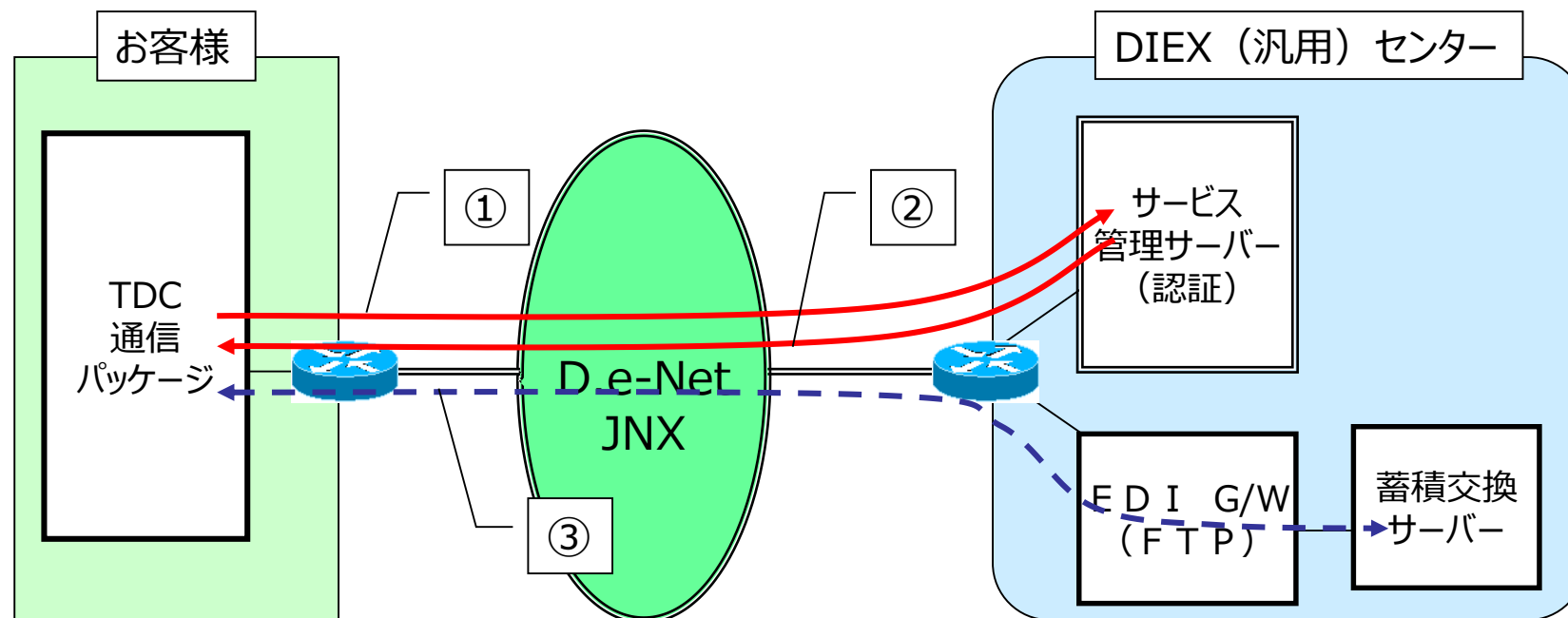


●通信パッケージ提供OS

Windows7, Windows10, Windows2008 R2,
Windows2012, Windows2012 R2, Windows2016

●アプリケーション支援パッケージ提供OS

Windows7, Windows10, Windows2012,
Windows2012R2, Windows2016

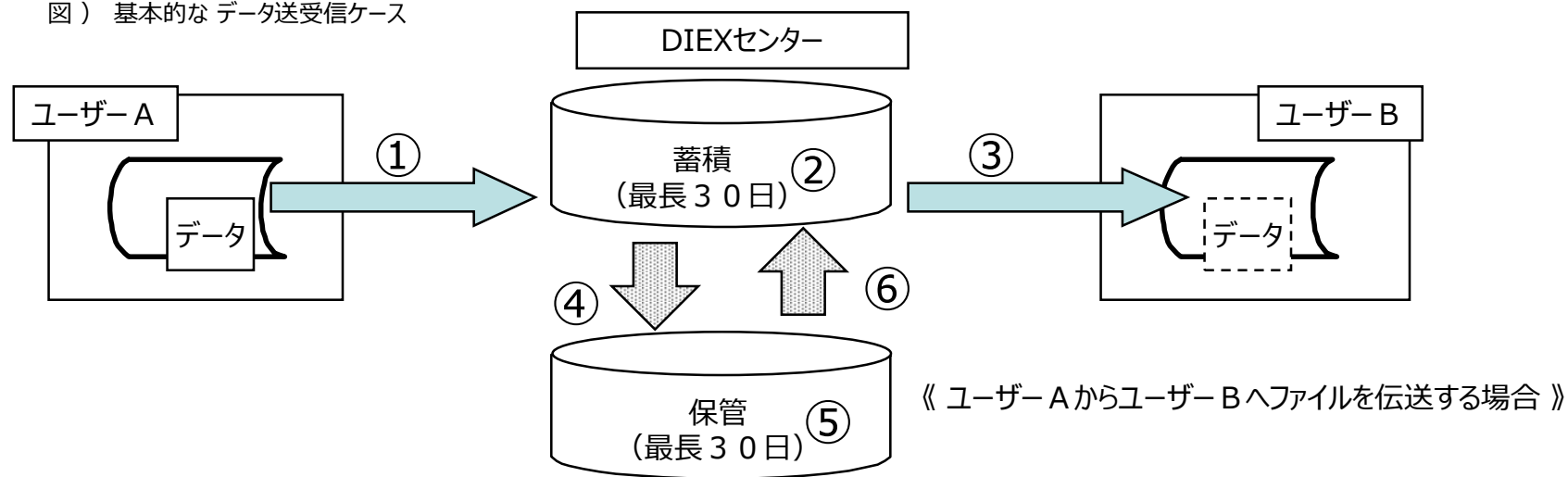


通信概要

- ①通信パッケージ→サービス管理サーバー（ポート番号：15700）
DIEX（汎用）サービスの認証、管理サーバーIDに準拠したEDI G/WのIPアドレス通知、
EDI G/Wとの通信用パスワード情報の提供
- ②通信パッケージ←サービス管理サーバー（ポート番号：15701）
通信パッケージのバージョン情報確認、センターからのバージョンアップモジュール提供
- ③通信パッケージ→FTPサーバー（ポート番号：20、21）
EDI G/W経由で授受データ送信・受信

8.センター貯蓄・保管機能

図) 基本的なデータ送受信ケース



(1) 情報蓄積交換料… ファイル格納 (①) ファイル抜き出し (③)

ファイル送信者は蓄積BOXへ格納し、ファイル受信者は蓄積BOXよりファイル抜き出しを実施。
利用料金はそれぞれに発生する。 算出方法は 1日単位に送受信データバイト数を 1000バイトで
除した結果が適用される。(少数第1位 切り上げ) 2円/1000バイト

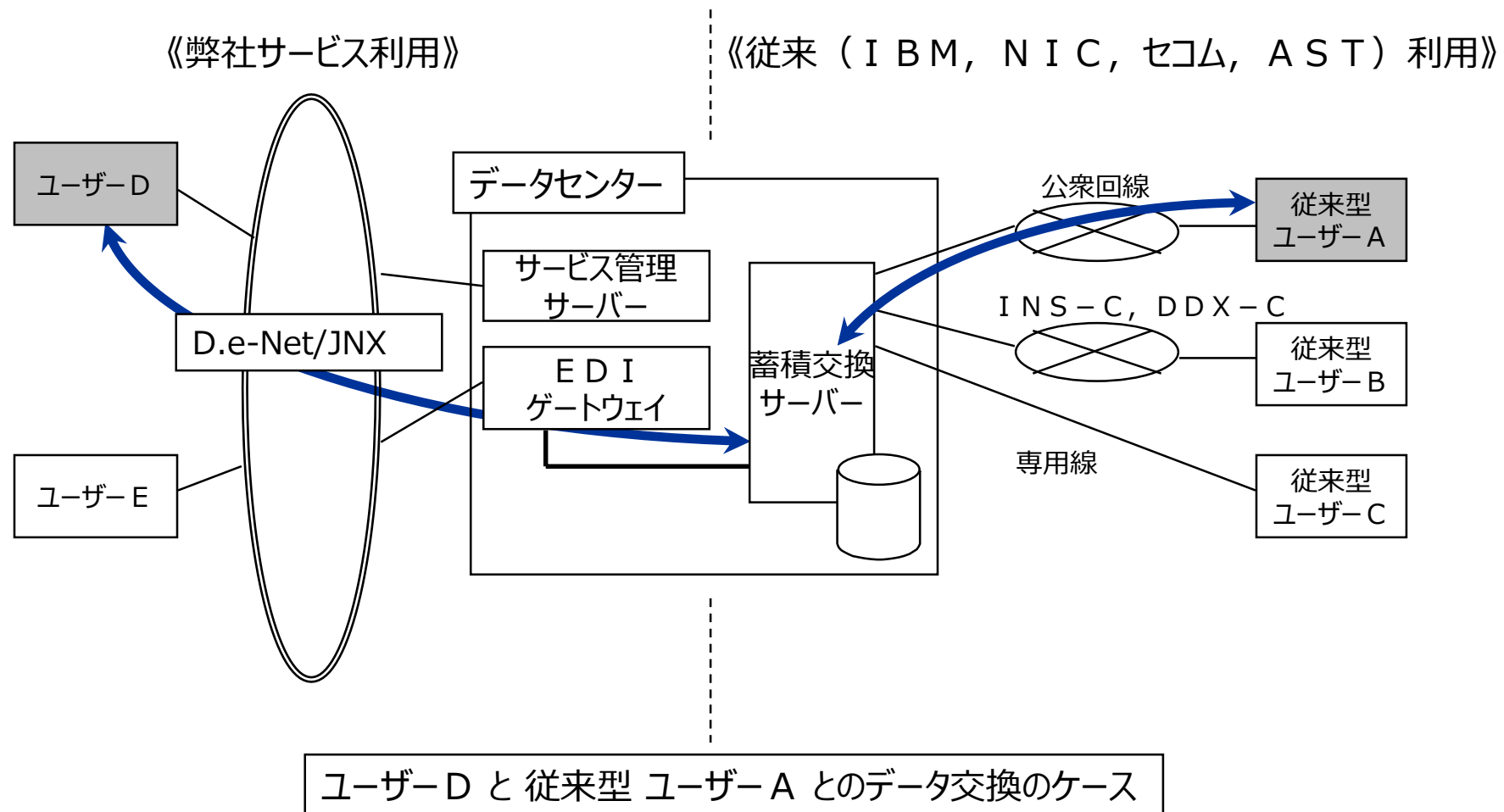
(2) 短期保管料 … ファイル蓄積 (②) および保管 (⑤) (④は設定のみで無償)

蓄積は3日間無償とし 3日以内に抜き出しされないファイルで蓄積期間の指定がない場合は消去。
保管は 抜き出し完了されたファイルが対象で 保管期間が指定されている場合対象となる。
蓄積, 保管とも最長30日までとし 指定期間は任意で設定。 600円/MB・日

(3) 保管取り出し処理料 … 保管取り出し (⑥)

1度 抜き出し済みファイルを再度 抜き出すため、保管状態にあるファイルを蓄積BOXへ戻す。
ファイルの抜き出しは 蓄積BOXにあることが前提。取り出し要求したファイル数に課金される。
5円/ファイル

9. 従来接続とのデータ交換



他企業とのデータ授受をDIEX経由で利用しているお客様においても、既存利用授受をそのまま継続して利用できます。(VANとして共通のインフラを利用しているため)

11.利用ソフトウェア概要 (Windows版 TDC通信パッケージ)

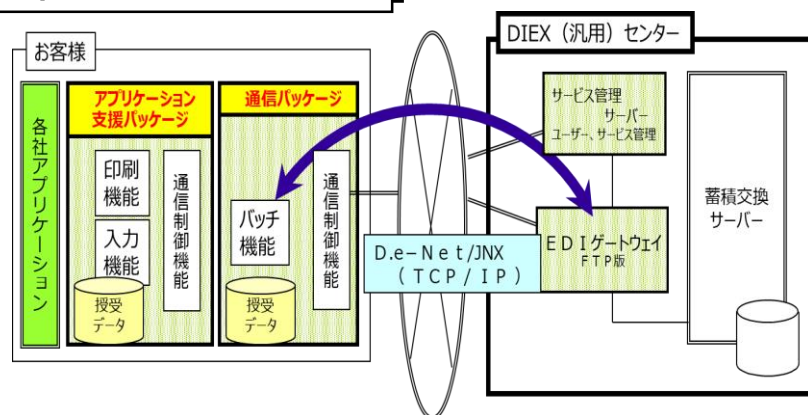
1) システム概要

DIEX（汎用）サービスにてデータ授受を実施するために必要な機能を備えたファイル転送ソフトウェアです。

TDC通信パッケージは、T C P / I P ソケット通信により高速なファイル転送の仕組みを提供します。

情報として文字データ以外に画像、図面等のデータも送受信が可能であり、またトヨタ自動車殿とのデータ授受フォーマット（T N S 標準フォーマット、T N S 拡張フォーマット）の処理が可能です。

2) システム構成



機能構成

-通信制御機能

…イントラへのダイヤルアップ接続、DIEX（汎用）センターとのデータ授受等、センターとの通信を管理／制御します

-運用管理機能

…ログによる状況照会、再送信、再受信等の処理を管理／支援します

- ユーザーアプリケーション・インターフェース

…ユーザーアプリケーションからTDC通信パッケージの機能を利用する為のインターフェースを提供します

3) 稼動環境

稼動OS : Windows7、Windows10、Windows2008R2、Windows2012、Windows2012R2、Windows2016

稼動マシン : 上記稼動OSが動作可能なパーソナルコンピュータ

ディスク空容量 : 10GB以上（一日のデータ送受信量・データ保管日数により異なります。）

4) 導入メディア

ダウンロードサイトよりインストーラを入手

12.利用ソフトウェア概要 (TDCアプリ支援パッケージ) 1/2

1) システム概要

TDC通信パッケージを用いて受信したデータをリスト化して印刷したり、画面に入力欄を表示させて送信用のデータを作成するなど、「データ授受行為におけるお客様の業務よりの処理」を支援するソフトウェアです。

多様な局面に対応できるよう汎用性を持たせてある反面、各種機能の定義情報の設定については煩雑な部分があります。

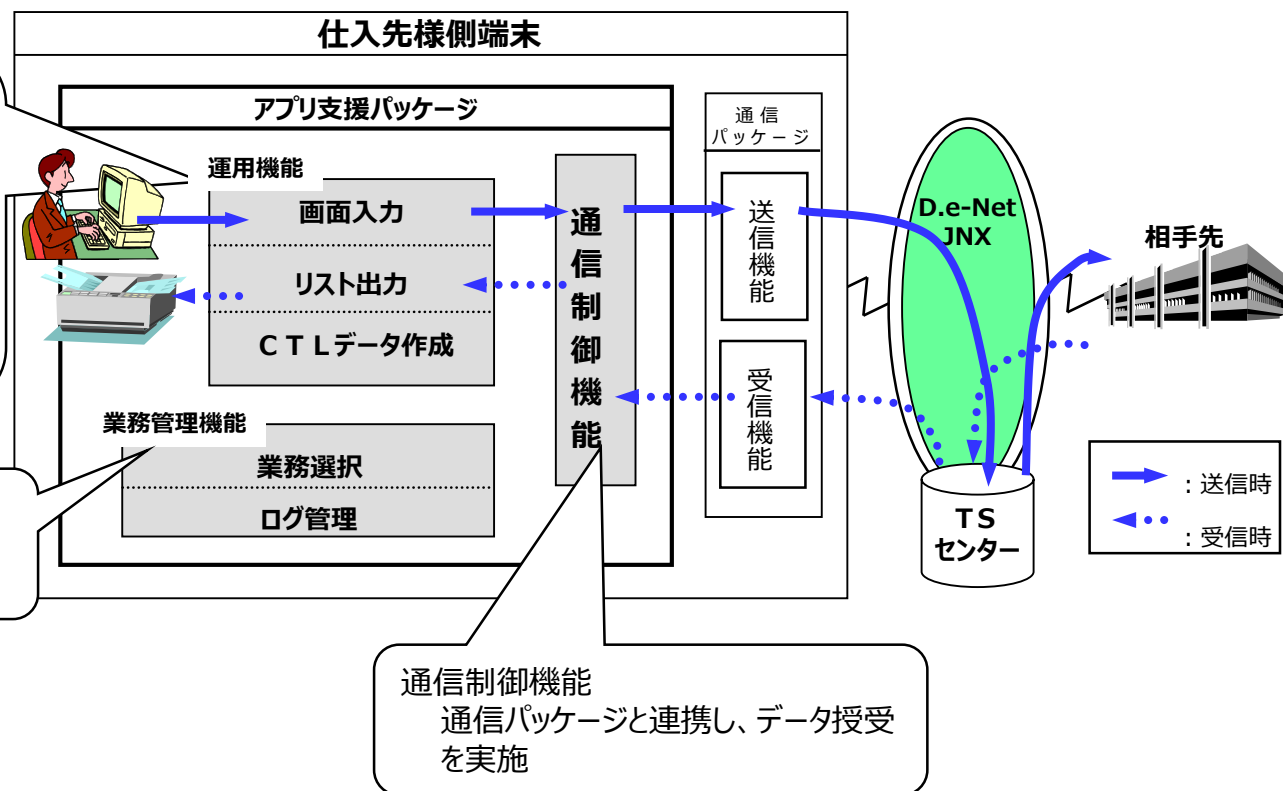
2) システム構成

運用機能

仕入先様業務にて必要となる「画面入力によるデータ作成」、「授受データのリスト出力」の機能、および「画面入力機能」、「リスト出力機能」「通信制御機能」を定義するコントロールデータの作成機能を提供

業務管理機能

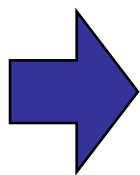
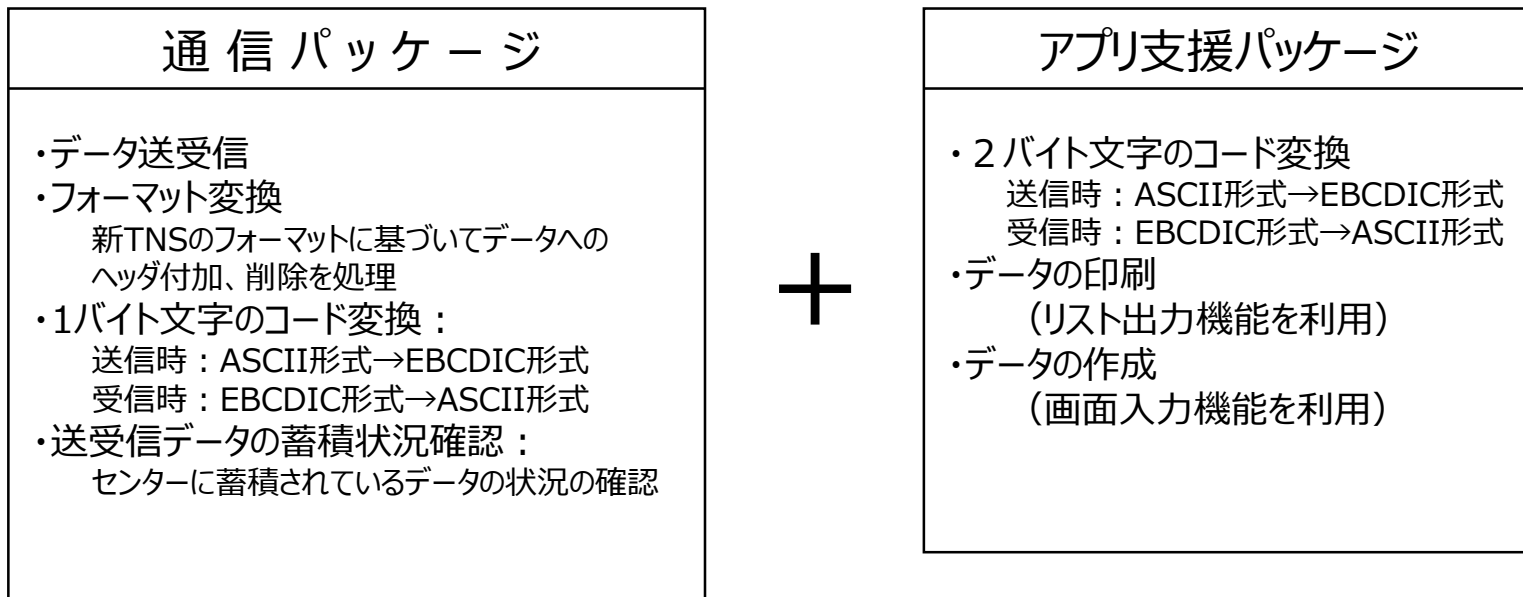
アプリ支援パッケージによって処理された業務の結果、ログの参照



12.利用ソフトウェア概要 (TDCアプリ支援パッケージ) 2/2

3) アプリ支援パッケージの導入効果

TDC通信パッケージとTDCアプリ支援パッケージの分担範囲は以下の通りです。

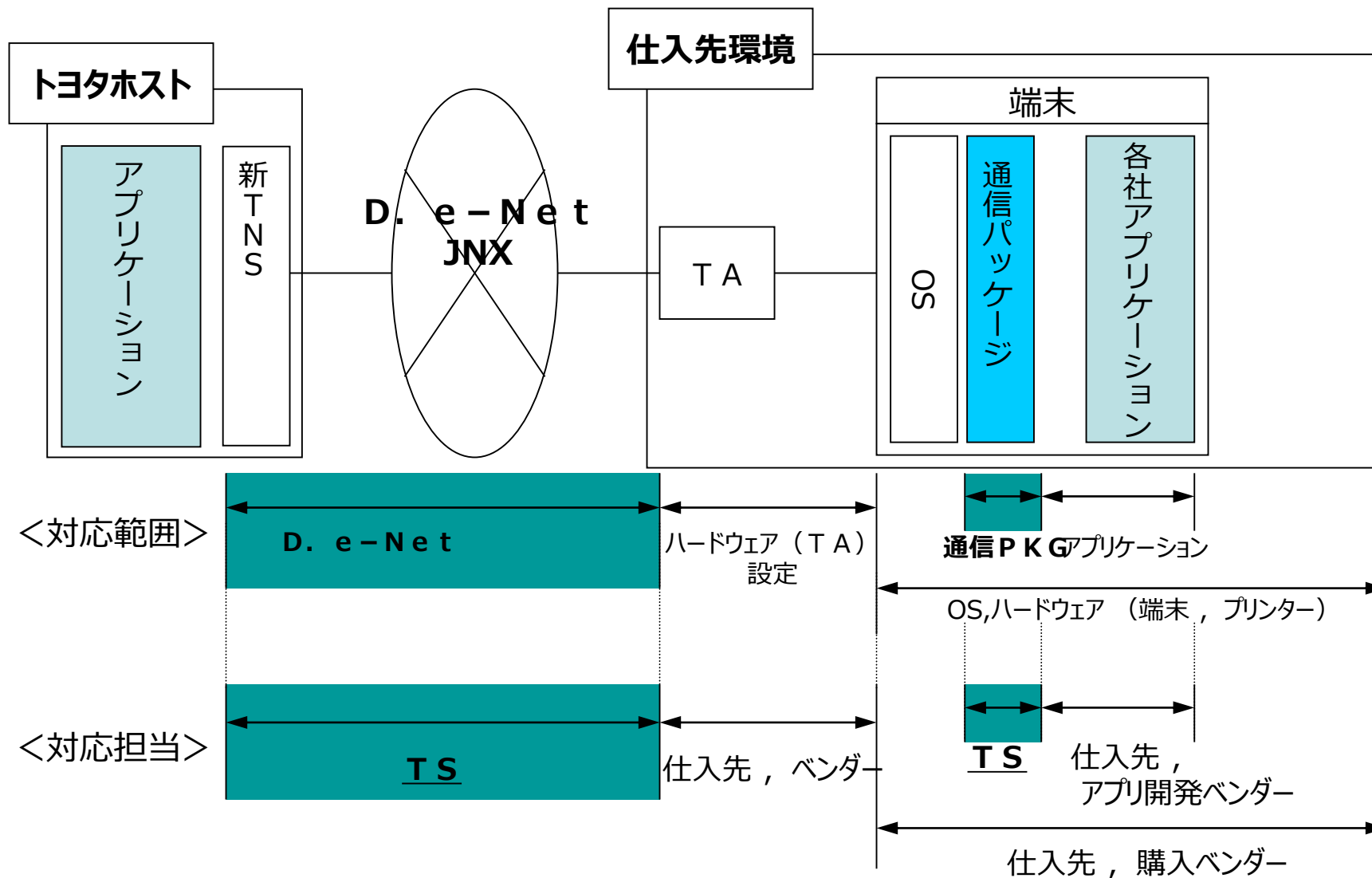


アプリ支援パッケージを導入していない仕入先様においては印刷、データ作成など業務上の必要に応じて自社にてアプリケーションの開発が必要となります。

但し、印刷・データ作成には、CTLデータが必要となりますので、入手方法を確認の上、導入判断をお願いします。

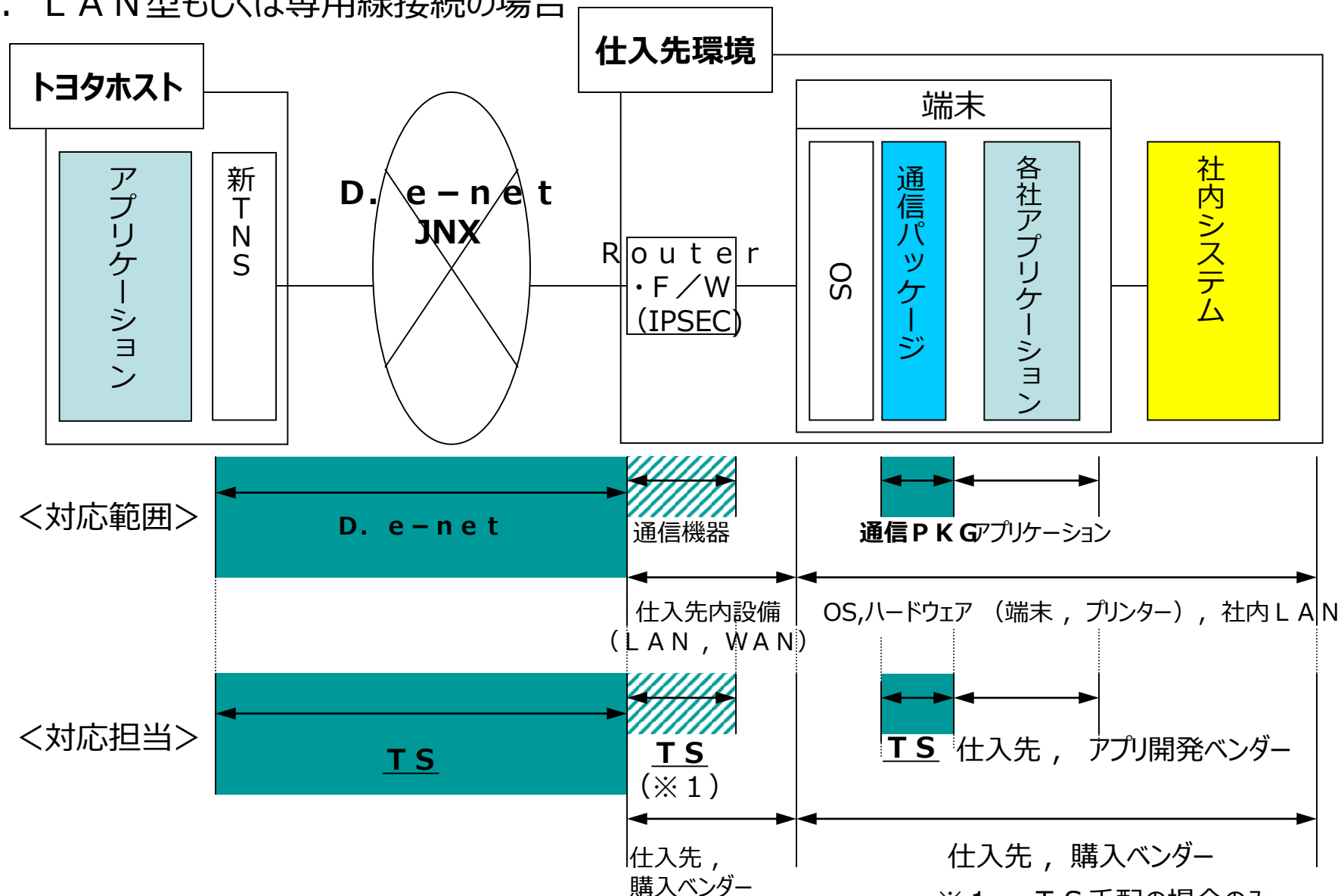
13.サービス利用開始後の 保守責任範囲について 1/2

1. 端末型接続の場合



13.サービス利用開始後の 保守責任範囲について 2/2

2. LAN型もしくは専用線接続の場合



END